

グッドデザイン丸の内の企画展公募2026

グッドデザイン丸の内の展覧会企画を募集します【2025年8月末募集締切】

公益財団法人日本デザイン振興会（JDP・所在地：東京都港区）が運営するデザインの発信拠点「GOOD DESIGN Marunouchi」（所在地：東京・千代田区）は、5回目となる展覧会企画の公募を実施します。募集するのは、2026年3月末からの1ヶ月間、本ギャラリーを会場として実際に開催できる展覧会企画案で、デザインに関わるものであれば内容は問いません。展示に関わる費用は300万円（税込）までJDPが支援し、GOOD DESIGN Marunouchiの運営スタッフが開催をサポートします。多くのご応募をお待ちしております。



[企画展公募について]

GOOD DESIGN Marunouchiの展覧会企画公募は、デザインの可能性を広げ、多くの人たちに創造的な気づきを提供する、熱意ある展示企画の応募をお待ちしています。本公募ではこれまで、「漫画とデザイン展」「不快のデザイン展」「人生の大切なことをゲームから学ぶ展」「ごはんのデザイン展」を開催。いずれも明快なテーマ設定で、ユニークな角度からデザインの可能性に切り込み、多くの来場動員を達成しています。本年も、社会課題のど真ん中を突く直球も、意表を突く変化球も大歓迎です。単純なPRやセールスプロモーションは選考対象から外れますが、商品やサービスを新たな解釈で再定義する試みなどはその限りではありません。望ましい未来への議論を呼び起こす独創的な展示企画を期待しています。

審査員： GOOD DESIGN Marunouchi ディレクター
内藤 廣・廣村 正彰・藤崎 圭一郎（写真左より）



公募フライヤービジュアル

応募締切：2025年8月31日（日） 一次審査書類データ到着分まで

応募資格： 応募者は20歳以上であること（2025年4月1日現在）。複数人で応募する場合、代表者が要件を満たすこと。
選出された場合、2026年3月28日（土） - 4月26日（日）の会期でGOOD DESIGN Marunouchiを使用し、自らの責任で選出企画を遂行できること。

募集企画： GOOD DESIGN Marunouchiでの開催を前提にした、デザインをテーマにした展覧会企画。選考にあたっては公募の趣旨に基づき、会場コンセプトとの合致やテーマ性・視点の独自性・社会性を重視します。

条件：

- 未発表のもので、企画自体が本公募のためのオリジナルであること
- 幅広い層が関心を持つ企画であること
- JDPが提供する開催資金300万円（税込）を有効活用した企画であること。
なお、開催費用がJDPの提供する資金を超過した場合は、当選者の負担となります。
- 企画展は入場無料とします。

展示： 応募された企画の中から審査員による書類審査、インタビューを経て1点を選出します。
選出企画1点は 2026年3月28日（土） - 4月26日（日）にGOOD DESIGN Marunouchiの企画展として開催します（JDPの共催）。
・当選企画に提供する開催資金 300万円（税込）は企画展制作費としてお支払いします。
・会場使用料は無料。会場備品の使用も可能です。
・会期中は、ギャラリースタッフ2名が常駐し、開催をサポートします（無料）。
・広報支援としてプレスリリースの配信、JDPおよび当ギャラリーウェブサイト・メールニュースへの情報掲載を行います。
・開催期間は双方協議の上、最終決定します。

ほか、応募と審査の方法・スケジュール等は以下の募集ウェブサイトをご覧ください。

<https://marunouchi.g-mark.org/exhibitionplanning2026.html>

<資料>

第4回 公募選出企画 開催レポート

名称:「たーんと、学ぼう。ごはんのデザイン展」

企画:株式会社TBWA\HAKUHODO

会期:2025年3月23日(日) - 4月27日(日)

来場者数:15,123名(平均420名/日)

<https://marunouchi.g-mark.org/exhibition146.html>



■ 選出者のコメント

「たーんと、学ぼう。ごはんのデザイン展」では、日本人にとって最も身近な存在である“ごはん”を入り口に、デザインという行為の本質を見つめ直す試みを行いました。お米の価格高騰やライフスタイルの変容により、ごはんへの関心が高まるいま、その「日常性」と「創造性」の交差点に着目し、作ること・食べることの中に潜むデザインの思考や価値をひもときました。体験型の展示、プロダクト、統計データなど多角的な切り口で構成された本展には、会期中15,000人以上が来場。来場者自身の感覚や記憶と接続するような空間の中で、「子どもと一緒に考えるきっかけになった」「何気ない食卓の中にデザインがあることに気づけた」といった声が数多く寄せられました。年代や国籍を問わず、誰もが“自分ごと”としてデザインに向き合う姿が印象的で、会場全体が学びと発見の場となりました。本展にご協力いただいたすべての関係者の皆様、そして足を運んでくださった来場者の方々に、心より御礼申し上げます。



■ 第4回企画展公募実施概要と選出経緯について

第4回目となる「GOOD DESIGN Marunouchi 企画展公募」は、2024年6月に応募概要を公開、9月末日まで企画を受け付け、最終的に昨年を19件上回る、過去最多の46企画をご応募いただきました。

本年は特にデザイナーのユニットやクリエイティブエージェンシーなど、プロフェッショナルの有志によるチームでの応募が多く、印象的な提案が多数ありました。

審査はGOOD DESIGN Marunouchi ディレクターの内藤廣、廣村正彰、藤崎圭一郎の3名が行いました。提出書類による一次審査(9月)にて46企画より5企画を選出、二次審査(10月)では5件の企画チームへのヒアリングを実施し、協議の結果、1企画を決定しました。

参照:第4回企画展公募結果報告:

<https://marunouchi.g-mark.org/exhibitionplanning2025.html>